



耐変色性、耐候性に優れたポリウレタン樹脂塗料。

ハイポン50

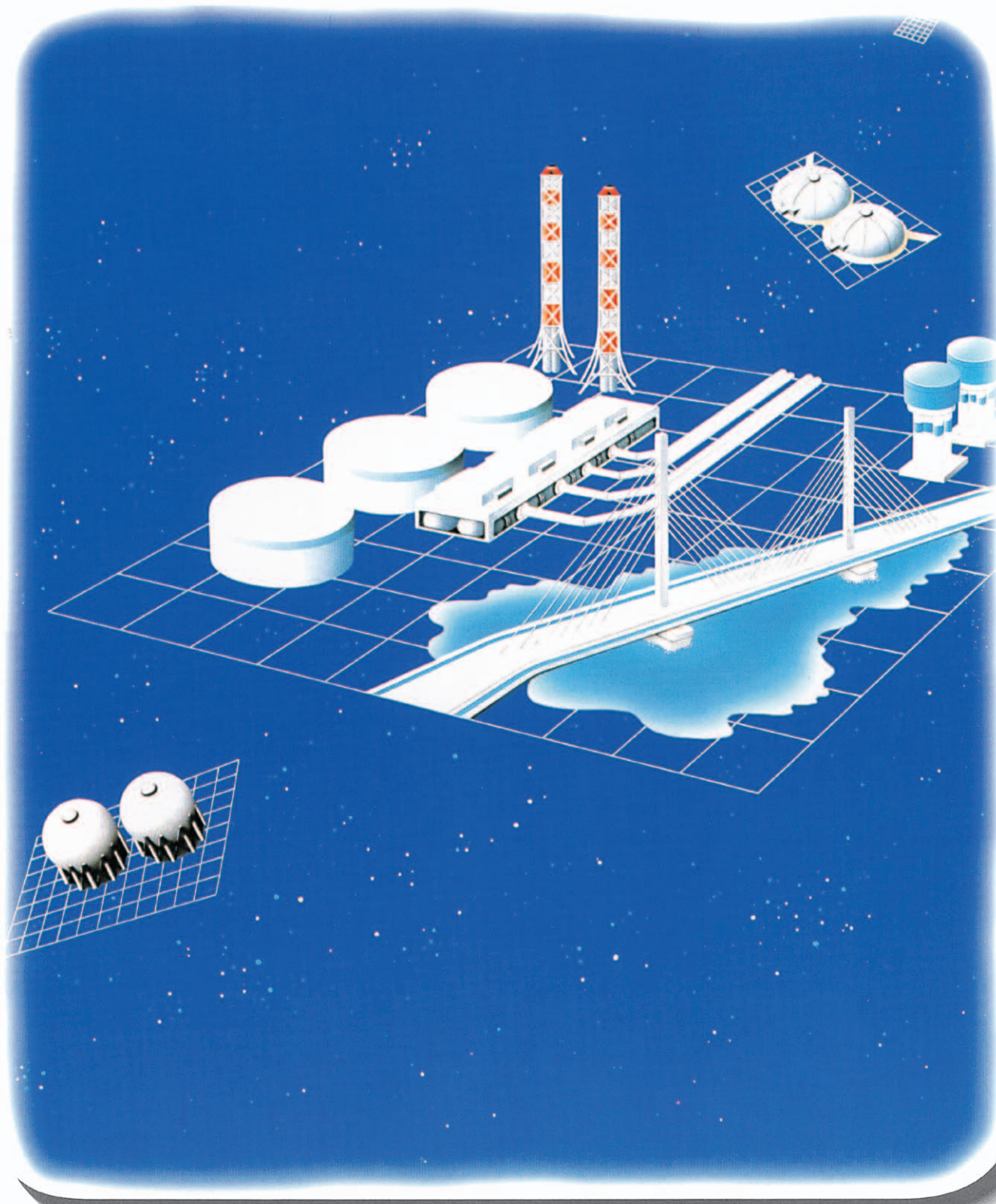
システム

JIS K 5659

鋼構造物用耐候性塗料 上塗り塗料3級

ハイポン50上塗

タンク外面や橋梁などに、
塗りたての輝きを長期にわたり保ちます。



概要

ハイボン50システムは

防食性にすぐれたエポキシ樹脂さび止め塗料に、耐候性の良いポリウレタン樹脂上塗り塗料を組み合わせたウレタン塗装システムです。

酸、アルカリ、塩分などの腐食成分に強い防さび力を持つハイボン20デクロを厚膜に塗付することで、さびの発生を抑えます。この厚膜の上に、紫外線に強く、長期間にわたり光沢が低下しないハイボン50上塗を組み合わせてることにより、塗り替え周期を長く取れるシステムとなりました。

特長

1. 耐候性がすぐれています。
2. 耐薬品性がすぐれています。
3. 高光沢で外観が良好です。

用途

長期の防食性と耐候性が要求される個所に最適です。

集合煙突、タンク外面、鉄塔、屋外鉄骨、水門扉、プラントなど。

〈好ましくない用途〉

1. タンク内面などの没液部（耐候性よりも防食性の方が要求されるため、ハイボン30システムまたは40システムを採用してください。）
2. 被塗物自身に絶えず130℃以上の熱がかかる場合。（テツポール仕様を採用してください。）



荷姿

一般名	商品名	色	容 量
ポリウレタン樹脂上塗り塗料	ハイボン50上 塗	各 色	16kgセット（塗料液：硬化剤＝14kg：2kg）、4kgセット（塗料液：硬化剤＝3.5kg：0.5kg）
厚膜形ポリウレタン樹脂上塗り塗料	ハイボン50上 塗HB	各 色	16kgセット（塗料液：硬化剤＝14kg：2kg）、4kgセット（塗料液：硬化剤＝3.5kg：0.5kg）
—	ハイボンウレタンシンナー *	—	16L 4L

* 季節によって冬季には（気温が10℃以下）Wタイプ、夏季には（気温が25℃以上）Sタイプを取り揃えております。

注意事項

- ・ 硬化剤は湿気に変質しやすいので密栓して貯蔵してください。
- ・ 補修塗装で下塗り、中塗りを塗り重ねる部分は入念な面荒しを行ってください。
- ・ 水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- ・ 塗装時 0℃以下、塗装後 0℃以下の気温が連続することが予想される場合、または塗装時の湿度 85% 以上の場合は施工しないでください。
- ・ 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行なってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。

塗料使用上の注意事項

項 目	商品名		ハイボン50 上 塗		ハイボン50 上塗HB	
混合比（重量）：塗料液/硬化剤			7/1		7/1	
ポットライフ（23℃） ※1			6時間		6時間	
希釈剤			ハイボンウレタンシンナー		ハイボンウレタンシンナー	
塗装方法			エアレスプレー	はけ・ローラー	エアレスプレー	はけ・ローラー
希釈率（%）			10～20	0～10	10～20	0～5
使用量（kg/m ² /回）			0.14	0.12	0.30	0.18
ウエット膜厚（μm）			55	55	160	120
ドライ膜厚（μm）			30	30	75	55
エアレス条件 二次圧（MPa）			12～15		12～15	
チップ No.			163-513,515など		163-513,515など	
指触乾燥 （23℃）			20分		20分	
半硬化乾燥 （23℃）			1時間		1時間	
塗り重ね時間（23℃）			16時間以上～10日以内		16時間以上～10日以内	

（注）※1. ポットライフとは、塗料液と硬化剤を混合し、その混合液の使用可能な時間。

ポットライフを過ぎて使用すると、十分な性能を発揮しませんので小面積に塗付する場合は、その都度小出し混合してお使いください。

基本塗装システム例

1. ハイボン50システムA (タンク外面、各種プラント外面)

工 程		塗 料 名	使 用 量 (kg/m ² /回) (はけ・ローラー)	目標膜厚 (μm/回)	シンナー名 (希釈率%)	塗り重ね塗装間隔 (23℃)
前 処 理	素 地 調 整	ブラスト処理：ISO Sa2 1/2				4時間以内
	プ ラ イ マ ー	ニッペジンキー8000 メタルグレー	0.20 (エアレス)	15	ニッペジンキー8500シンナー (5～15)	16時間～6カ月
現 場	下 塗 り (1)	ハイボン20デクロ	0.20	50	ハイボンエポキシシンナー (0～5)	16時間～1カ月
	下 塗 り (2)	ハイボン20デクロ	0.20	50	同 上 (0～5)	16時間～10日
	中 塗 り	ハイボン30 マスチック中塗K	0.14	30	同 上 (0～5)	16時間～10日
	上 塗 り	ハイボン50上塗	0.12	30	ハイボンウレタンシンナー (0～10)	16時間～10日

・ジョッププライマーは、ニッペジンキー1000P(無機ジンクリッチプライマー)も使用できます。

2. ハイボン50システムB (大型鉄骨構造物)

工 程		塗 料 名	使 用 量 (kg/m ² /回) (スプレー)	目標膜厚 (μm/回)	シンナー名 (希釈率%)	塗り重ね塗装間隔 (23℃)
前 処 理	素 地 調 整	ブラスト処理：ISO Sa2 1/2				4時間以内
	プ ラ イ マ ー	ニッペジンキー1000P	0.20	15	ニッペジンキー1500シンナー (0～5)	2日～6カ月
工 場	2 次 素 地 調 整	ブラスト処理：ISO Sa2 1/2以上にさびを落とす。……………1種ケレン				4時間以内
	下 塗 り (1)	ニッペジンキー1000QC	0.70	75	ニッペジンキー1500シンナー (0～5)	2日～10日
	ミ ス ト コ ー ト	ハイボン20 ミストコート用下塗	0.16	—	ハイボンエポキシシンナー (30～50)	1日～10日
	下 塗 り (2)	ハイボン20P-HB※1	0.54	120	同 上 (0～5)	1日～10日
	上 塗 り	ハイボン50上塗HB	0.3	75	ハイボンウレタンシンナー (10～20)	1日～10日

※1. ハイボン20P-HBの代わりにハイボン30マスチックプライマーK(0.30kg/m²/回・60μm/回(2回))も使用できます。

3. ハイボン50プラント塗り替えシステム

工 程		塗 料 名	使 用 量 (kg/m ² /回) (はけ・ローラー)	目標膜厚 (μm/回)	シンナー名 (希釈率%)	塗り重ね塗装間隔 (23℃)
現 場	素 地 調 整	電動工具を主体に除錆(ISO St3)および浮き塗膜の除去および活膜部の表面粗しをしてください。				4時間以内
	補修(素地露出部)	ハイボン20デクロ	(0.20)	(50)	ハイボンエポキシシンナー (0～5)	16時間～1カ月
	下 塗 り	ハイボン20デクロ	0.20	50	同 上 (0～5)	16時間～1カ月
	中 塗 り	ハイボン30マスチック中塗K	0.14	30	同 上 (0～5)	16時間～10日
	上 塗 り	ハイボン50上塗	0.12	30	ハイボンウレタンシンナー (0～10)	16時間～10日

注意事項

- (1) 上記の各数値はすべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
- (2) エポキシ系塗料は、塗装後短期間のうちに降雨や結露あるいは高湿度など、水分の影響を受けると白化現象を起こします。このような場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した表層を除去した後、塗装してください。また、これらの塗料の乾燥時間は低温になると著しく遅くなり、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずるおそれがありますので、5℃以下の気温が連続する場合施工しないでください。
- (3) 夏場に連続して直射日光にさらされる場合は、5日以内に塗り重ねてください。それ以上の場合は面荒しを行ってください。

安全衛生上の注意事項 (ハイポン50上塗 ホワイト塗料液)

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を入手してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 熱／火花／炎／高温のもののような着火源から遠ざけてください。ー 禁煙です。
5. 容器を密閉しておいてください。
6. 容器を接地／アースをとってください。
7. 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用してください。
8. 火花を発生させない工具を使用してください。
9. 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
10. 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないでください。
11. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
12. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
13. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
14. 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用してください。
15. 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けてください。
16. 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
17. 口をすいってください。
18. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
19. 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
20. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。
21. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
22. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
23. ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けてください。
24. 皮膚刺激を生じた場合：医師の診断／手当を受けてください。
25. 眼の刺激が続く場合は：医師の診断／手当を受けてください。
26. 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合には洗濯してください。
27. 火災の場合：消火に適切な手段を使用してください。
28. 施錠して保管してください。
29. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
30. 直射日光や水濡れは厳禁です。
31. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる時には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。（偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。）
32. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。
33. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度にばく露しないでください。
34. 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
35. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

*上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

☐ 詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート (SDS) をご参照ください。

☐ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性液体および蒸気／皮膚刺激／強い眼刺激／遺伝子疾患のおそれ／発がんのおそれ／生殖能力または胎児への悪影響のおそれ／臓器の障害(単回暴露)／長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ／水生生物に毒性／長期的影響により水生生物に有害

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co.,LTD All rights reserved.

日本ペイント株式会社

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 鉄構

検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/large.html>

カタログNo.

NP-W034

TY180503T

2018年5月現在